

会 告

第 96 回 (秋季) 講演大会見学会・懇親会開催のお知らせ

本会は第 96 回秋季講演大会を昭和 53 年 10 月 3 日(火)、4 日(水)、5 日(木)の 3 日間、富山大学で開催いたしますが、これを機会に 10 月 3 日懇親会、4 日婦人見学会、6 日(金)見学会を下記により開催いたしますので、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。なお、講演大会の詳細ならびにジュニアパーティについては追ってお知らせいたします。

記

1. 見学会の申込について

期 日 昭和 53 年 10 月 6 日 (金) 2 班
会 費 1 班 2000 円 (含昼食費)、2 班 2500 円 (含昼食費)
申込締切 昭和 53 年 9 月 5 日 (火)

見学会参加申し込み上の注意

1. 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。
2. 申し込は 1 人 1 班とします。申し込み多数の場合は抽選により決定いたしますので希望順位を記入して下さい。
3. 各班は申込と同時に見学費をお払込み下さい。
4. 見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
5. 見学会が中止となつた場合は、会費を返金いたします。
ただし、お申し込みの取消は 9 月 14 日までとし、以後は取消しの申し出があつても返金いたしません。
6. 見学費の領収書は見学班が決定後、見学券といつしよに送付いたします。

2. 懇親会の申し込みについて

講演大会に際し全国各地からお集りになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。会費などについてもより多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気のご催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

期 日 昭和 53 年 10 月 3 日 (火) 18:00~20:00
会 場 電気ビル (富山市桜橋通り 3-1)
会 費 5,000 円 (同伴のご夫人はご招待いたします)
申込締切 昭和 53 年 9 月 5 日 (火)
参 加 券 領収証とともに申込締切後お送りいたします。

3. 婦人見学会について

期 日 昭和 53 年 10 月 4 日 (火)
コ ー ス 畠春斉工房、老子製作所、瑞竜寺等
会 費 5,000 円 (昼食代含む)
申込締切 昭和 53 年 9 月 5 日 (火)
参 加 券 領収証とともに申込締切後お送りいたします。

4. 申込方法

上記「申し込み上の注意」をご覧のうえ、別添申込用紙に必要事項を記入し、会費 (現金書留) を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込み、銀行振込みならびに郵便振替による申し込みは受け付けいたしません。

5. 申 込 先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館
(社) 日本鉄鋼協会 講演大会系 TEL (03) 279-6021

注) 1. 見学会、懇親会申込書は本誌会告末 (クリーム頁末) に掲載いたしております。

2. 講演大会中の宿泊については N 128 ページに案内しております。

秋季講演大会見学会

工場・施設見学 10月6日(金), 婦人コース 10月4日(水)

申込締切 9月5日(火)

班別	見 学 場 所	所 在 地	見 学 内 容	見 学 時 間	集合場所・出発時刻 解散場所・解散時刻	備 考
1	*(株)不二越本社工場	富山市石金20	工具・軸受・その他	8:50~10:20	集合 (8:20)	①参加費 2,000円 (屋食代含む) ②貸切バス (富山地鉄観光) 利用 ③屋食は新湊市内
	*日本高周波銅業(株)	新湊市八幡町 3-10-15	特殊鋼	11:10~12:00	出発 (8:30)	
	*日本鋼管(株)富山電気 製鉄所	新湊市庄西町 2-11-1	合金鉄 (フェロクロム)	(屋食) 13:30~13:55	国鉄富山駅前観光バ ス発着場	
	*日本重化学工業(株) 富山工業所 (株)老子製作所	高岡市吉久 1-1-1 高岡市金屋本町 3-7	合金鉄 (フェロマンガン) 肥料 鋳物 (鋳鉄・銅合金)	14:05~14:30 15:00~15:40	解散 (16:00) 国鉄高岡駅前	
2	宮村製箔(株)	金沢市北安江町 283	金箔	10:00~11:00	集合 (8:20)	①参加費 2,500円 (屋食代含む) ②貸切バス (富山地鉄観光) 利用 ③屋食は兼六園
	†(株)小松製作所栗津工 場栗津工場	小松市符津町ツ 23	中小型ブルドーザー, 小型パ ワーシミュベール, 専用工作機械, 各種鋳鋼品	(屋食) 13:30~14:30	出発 (8:30) 国鉄富山駅前観光バ ス発着場	
婦 人 コ ー ス	†(株)小松製作所栗津工 場小松工場	小松市八日市町	大小各種プレス, 鋳鋼品	15:00~16:00	解散 (16:30) 国鉄小松駅前	①参加費 5,000円 (屋食代含む) ②貸切バス (富山地鉄観光) 利用 ③屋食は二上山
	畠春斉工房	高岡市金屋町	茶の湯の釜	9:30~11:00	集合 (8:30)	
	(株)老子製作所	高岡市金屋本町 3-7	梵鐘・仏像・銅像・工作機械	11:00~11:40	出発 (8:40)	
	(二上山)	高岡市	万葉ライオン(中食)越中国府	(屋食) 13:30~14:00	国鉄富山駅前観光バ ス発着場	
	(朝日山公園)	水見市	跡・雨晴・松田枝浜・奈良の 浦朝日山公園・万葉遺跡藤波 神社	14:30~15:00	解散 (17:30) 国鉄富山駅前	
婦 人 コ ー ス	瑞 竜 寺	高岡市関本町	国宝建築前田藩主利長公菩提 寺	15:40~16:10		
	高岡銅器販売所	高岡市	美術鋳物	16:20~16:50		

(注) 1. ※同業者お断わり, 工場内での写真お断わり.

†工場内場所によっては写真撮影お断わりすることあり.

2. 婦人コースは, 婦人に限らずどなたでも申し込むことができます.

第 54・55 回西山記念技術講座開催のお知らせ

— 取鍋精錬技術と鋼材特性 —

主 催 日 本 鉄 鋼 協 会

第 54・55 回西山記念技術講座を下記のとおり開催いたしますので多数ご来聴下さいますようご案内いたします。

I 期 日 第 54 回 東京 昭和 53 年 9 月 19 日(火), 20 日(水)

農協ホール (東京都千代田区大手町 1-8-3 農協ビル 9 階 TEL 03-279-0311)

第 55 回 室蘭 昭和 53 年 10 月 19 日(木), 20 日(金)

新日本製鉄(株)室蘭製鉄所本事務所 3 階講堂
(室蘭市仲町12 TEL 0143-45-3131)

II 演題ならびに講師

第 1 日	9:30~11:00	取鍋精錬技術の基礎	名古屋大学工学部	坂尾 弘
	11:10~12:40	取鍋精錬技術の総論	川崎製鉄(株)水島製鉄所	飯田 義治
	13:40~15:10	脱ガスプロセス	新日本製鉄(株)広畑製鉄所	松永 久
	15:20~16:50	脱りん, 脱硫プロセス	(株)神戸製鋼所中央研究所	成田 貴一
第 2 日	9:30~11:30	極厚鋼材の水素系欠陥とその欠陥防止熱処理法	(株)日本製鋼所室蘭製作所	大西 敬三
	11:40~12:40	取鍋精錬技術と厚板の特性	新日本製鉄(株)製品技術研究所	佐藤 誠
	13:40~15:10	取鍋精錬技術で製造されたステンレス鋼の特性	住友金属工業(株)中央技術研究所	小若 正倫
	15:20~16:50	取鍋精錬技術で製造された薄板, 表面処理鋼板の特性	新日本製鉄(株)基礎研究所	阿部 光延

III 講演内容

1. 取鍋精錬技術の基礎 名古屋大学 坂 尾 弘

最近における取鍋精錬技術の著しい発展は、精錬法そのものより、むしろ周辺技術によるところが大きい。しかし将来の発展さらには新技術の開発を計るためには、この精錬法を精錬の原点から見直してみる必要がある。本講座ではこのような観点から、取鍋精錬における物理化学について述べる。

2. 取鍋精錬技術の総論 川崎製鉄(株) 飯 田 義 治

Bochumer Verein 真空鑄造法を源流として開花した取鍋精錬技術をその発展過程から整理し、更に各プロセスについて鑄塊に要求される品質特性および精錬操作から見た分類を試みる。またこれらのプロセスによつて到達し得る鋼の品質レベル、経済性などから各プロセスの得失を評価し、取鍋精錬の今後の方向を考える。

3. 脱ガスプロセス 新日本製鉄(株) 松 永 久

戦後の製鋼技術の進歩は純酸素転炉法、連続鑄造法に代表される生産性の向上、工程の省略による原価低減のほか真空脱ガスプロセスの発展による品質向上も極めて顕著である。

本講座では、2次精錬の中で歴史的に最も古い真空脱ガスプロセスの発展経緯、それをささえた付帯技術の進歩、理論的背景、操業ノウハウの進歩など真空脱ガスプロセスの現況について概観するとともに、今後の発展の方向についても考察してみた。

4. 脱りん, 脱硫プロセス (株)神戸製鋼所 成 田 貴 一

溶銑, 溶鋼の脱りんおよび脱硫反応機構を整理し、脱りん, 脱硫精錬を企図した2次精錬プロセスの概要と問題点ならびに現在の製鋼体系下における取鍋精錬の意義について述べる。

5. 極厚鋼材の水素系欠陥とその欠陥防止熱処理法 (株)日本製鋼所 大 西 敬 三

極厚鋼材の水素系欠陥の発生は、鋼塊内に残留する水素と、鋼材熱間加工後の熱的取扱に強く影響される。

本稿では、まず最初に鋼塊間の水素の残留状態および極厚鋼材の水素系欠陥の実例を紹介し、さらに水素系欠陥防止法について述べる。

6. 取鍋精錬技術と厚板の特性 新日本製鉄(株) 佐 藤 誠

今日、各種の取鍋精錬技術が実用化され、高級鋼の製鋼技術ばかりでなく、量産鋼の特性向上の手段として、広く用いられている。ここでは各種取鍋精錬技術適用によるクリーン・スチール化や介在物形態制御が構造用厚鋼板の延性、じん性、溶接性などに如何に影響するかについて考察し、取鍋精錬の新技術適用による鋼材特性向上の現状と可能性について展望してみたい。

7. 取鍋精錬技術で製造されたステンレス鋼の特性 住友金属工業(株) 小 若 正 倫

オーステナイト系ステンレス鋼はその優れた諸特性のため広く装置材料として使用されている。しかし孔食、粒界腐食、応力腐食割れ等の欠点がある。一方フェライト系ステンレス鋼はこれらの欠点を補うことができるが、靱性加

工性、溶接性の難点がある。そしてこれらの諸特性には微量元素の影響が大きいことが知られている (C, P, S, N, O等)。

最近精製技術の進歩により、これら微量元素の低温が工業的に可能となり、特性の改善行なわれるようになった現状および問題点について述べる。

8. 取鍋精錬技術で製造された薄板、表面処理鋼板の特性 新日本製鉄(株) 阿部 光 延

薄板には優れた加工性や非時効性が要求される。C・Nの低温、Mn-S-Oの量的バランスの調整などがこれら特性の向上に有効といわれ、そのほか REM, B, Tiなどが合金元素として注目されている。さらに薄板での耐錆性や表面処理鋼板のメッキ密着性なども成分元素と密接に関連し、ホーロー性や振動温衰能についても同様である。このような実用上の諸特性と成分元素との関連を中心にした話題を提供する。

IV 聴講無料 (事前の申込は必要ありません)

V テキスト代 3,500 円

VI 問 合 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日 本 鉄 鋼 協 会 編集課 TEL 03-279-6021

「鉄と鋼」特集号原稿募集案内

テーマ：耐熱鋼・耐熱合金

原稿締切日：昭和 53 年 10 月 16 日 (月)

工業の進歩とともに、高温で運転される機器・装置は次第に増加する傾向にあり、その運転条件も温度、圧力、環境などいつそうきびしくまた多様化しつつあります。それに応じてこの方面の材料に関するわが国の研究と開発は基礎と応用の両分野にわたり、著しい進歩がみられるように思います。そこで、今回は耐熱鋼および耐熱合金の高温特性と金属学的因子との関連に焦点をあて、今後のこの方面の一層の進歩に寄与できることを期待し、特集号を企画いたしました。この特集号には一応次のような分野を包含させたいと考えておりますので、独創的な論文あるいは技術報告のご投稿をお願いいたします。

- ・ 低合金鋼を含めたフェライト系・マルテンサイト系およびオーステナイト系の耐熱鋼、鉄基・ニッケル基およびコバルト基などの耐熱合金の材料学的または製造冶金学的問題
- ・ 高温変形、クリープ、高温疲れ、クリープと疲れの重量効果、熱疲れなど
- ・ 高温酸化、高温腐食など
- ・ 実構造物の静的・動的応力下での腐食と破壊およびそのシミュレーション

記

1. テー マ 耐熱鋼・耐熱合金
2. 原稿締切日 昭和 53 年 10 月 16 日 (月)
3. 発 行 鉄と鋼、第 65 年 7 号 (昭和 54 年 6 月号)
4. 原稿枚数 図、表、写真を含めて所定の原稿用紙
(論文) 50 枚以内 (刷り上り 10 頁以内)
(技術報告) 35 枚以内 (刷り上り 7 頁以内)
(執筆の仕方は本会投稿規程に従う)
5. 送 付 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 F
日本鉄鋼協会編集課特集号係宛 (電) 03-279-6021

(注) 原稿表紙に「耐熱鋼・耐熱合金特集号」と朱書して下さい。

金属材料技術者のための破壊力学入門と その応用に関する講習会

主催：日本金属学会東海支部，鉄鋼協会東海支部 共催：
溶接学会東海支部，日本鋳物協会東海支部，軽金属学会
名古屋センター 協賛：日本材料学会中部支部，日本機
械学会中部支部

趣旨：最近の破壊力学の発達とともに，金属材料の破
壊靱性，疲労破壊，環境破壊などの各種破壊強度を考え
る上で破壊力学の考え方の重要性または有効性が広く認
識されてきております。

そこで今回はこれら各分野の第一線で活躍しておられ
る方々を講師にお迎えして，従来破壊力学に比較的なじ
みの浅かった方にも充分御理解頂けるように，破壊力学
の考え方の基礎に重点をおき，かつ最新の発展までを含
めて解説して頂くよう下記のように企画いたしました。御
関心のおありの方々，多数御参加下さい。

記

日 時：昭和53年10月18日(水)，19日(木)
会 場：名古屋市中種区不老町 名古屋大学工学部5
号館2階第521番講義室

定 員：100名

参加費：会員 15,000円，非会員 18,000円
学生 5,000円

(いずれもテキスト代を含み，主催，共催，
協賛団体の会員である会社，工場よりお申込
みの場合，参加者が会員外でも会員なみに取
扱います。)

申込締切：9月30日(土) 必着

申込方法：所定の書式により参加費を添えて日本金属学
会，日本鉄鋼協会東海支部宛お申込み下さい。
参加費は現金書留または東海銀行覚王山支店
普通預金 758-895 日本金属学会鉄鋼協会東
海支部宛お送り下さい。申込と同時に聴講券
をお送り申し上げます。

プログラム

第1日 10月18日(水)

(1) 金属の破壊と破壊力学 (9:30~11:30)

名大工 大塚 昭夫
金属材料における破壊現象(延性破壊，ぜい性破壊，
疲労など)およびそれらと破壊力学との関連などにっ
いて概説

(2) 破壊力学入門 (12:30~14:30)

阪大工 大路 清嗣
破壊力学になじみの浅い金属関係の方にも破壊力学の
概念を充分理解して頂くことに重点をおいて，初歩よ
りやさしく解説

(3) フラクトグラフィー(破壊過程および破壊力学
的因子との関連) (14:35~16:35)

阪大基礎工 小寺沢良一
破壊現象を解析する手段としてのフラクトグラフィー
の現状および破壊力学の因子と破面形態との関連など
につき解説

第2日 10月19日(木)

(1) 環境強度(応力腐食割れ，腐食疲労)と破壊力学
(9:30~11:30) 京大工 駒井謙治郎

応力腐食割れや腐食疲労の概説と，それらを考慮に入
れて強度設計を行う場合に破壊力学が如何に用いられ
るかについて解説

(2) 破壊靱性および疲労現象の破壊力学的取扱いと
材料組織因子 (12:30~14:00)

東工大 小林 英男
破壊靱性や疲労き裂進展現象を支配する破壊力学的因
子(パラメーター)およびその値を支配する材料的因子
などについて解説

(3) 破損解析

1) マクロ破面による破損解析 (14:05~14:45)

名工研 吉田 亨

2) フラクトグラフィーによる破壊解析例
(14:45~15:25)

三菱重工名古屋 内本徹雄，坂本 昭

(4) 破壊靱性試験法実習 (15:35~17:00)

名大工 宮田 隆司，西村 誠二
破壊靱性試験に際して必要なCOD(開口変位量)の測
定，その他につき米国，英国における規格に沿った実
験方法の解説，実習，その他

第1回材料講習会

「最近の新しい材料試験法とその応用技術」

主催：日本材料学会 協賛：日本鉄鋼協会，ほか

期 日 昭和53年11月16日(木)，17日(金)

会 場 大阪科学技術センター 405号室
大阪市西区靱1丁目18 地下鉄四ツ橋線本町
下車北 150m

第1日 (11月16日(木))

9:30~12:30 新しいASTM規格を中心とした破壊
靱性試験法とその応用

横浜国大工 小倉 信和

13:30~16:30 最近の非破壊検査技術について

富士電機 三好 滋

16:30~17:00 質疑応答

第2日 (11月17日(金))

9:30~12:30 フラクトグラフィの基礎と事故原因の
解析 阪大基礎工 小寺沢良一

13:30~16:30 応用技術を中心とした各種環境下の材
料劣化の試験法 京大工 吉沢 四郎

16:30~17:00 質疑応答

参加申込締切 11月10日(金) 定員 50名

参加料 会員(協賛学会含む) 20,000円，非会員 30,000
円，学校関係会員 12,000円，同非会員 18,000
円，学生会員 6,000円，同非会員 9,000円

申込方法 氏名，所属，連絡先，所属学協会名を記し，
参加料を添えて，〒606 京都市左京区吉田泉
殿町1の101 日本材料学会講習会係へお申込
み下さい。Tel. (075) 761-5321

振替口座京都 26625 番

第 15 回 X 線分析討論会

共催：日本分析化学会・同 X 線分析研究懇談会・日本化学会 協賛：日本鉄鋼協会，ほか

期 日 9 月 26 日 (火)～28 日 (木)

会 場 京都大学楽友会館 (京都市左京区吉田近衛町
電話：075-751-1100)

〔交通〕 京都駅前より市電 6 番またはバス 65 番にて近衛通り下車，徒歩 3 分

— プ ロ グ ラ ム —

第 1 日 (9 月 26 日)

(9:20～10:40)

1. $1/I$ vs $1/W$ の直線性を利用するけい光 X 線分析：溶融法の場合 東工試 浅田栄一，ほか
2. X 線管球スペクトル分布の推定とその定量分析への応用 村田製作所 村田充弘，ほか
3. 標準試料を用いない合金類のけい光 X 線分析 金材技研 大野勝美
4. 鉱石中のウランの分析 島津 田中 武，ほか (11:00～12:00)
5. (特別講演) けい光 X 線分析における表面の問題点 金材技研 大野勝美
6. (特別講演) 最近の鉄鋼業界における X 線分析 川鉄技研 安倍忠広 (14:20～15:20)
7. けい光 X 線による鋼中炭素の分析 島津 越智寛友，ほか
8. 炭化バナジウム中の含有不純物のけい光 X 線分析法 電総研 金子啓二，ほか
9. けい光 X 線分析のための汙紙を用いた試料調製法 村田製作所 村田充弘，ほか (15:40～16:40)
10. けい光 X 線分析法による生体軟組織の多元素分析 北里大医 太田顕成，ほか
11. 須恵器のけい光 X 線分析 (第 5 報) —西日本各地産出須恵器の化学特性 奈良教育大 三辻利一，ほか
12. エネルギー分散型けい光 X 線分析法の考古試料及び地球化学試料への適用 奈良教育大 三辻利一，ほか

第 2 日 (9 月 27 日)

(9:20～10:40)

13. 微量ヒ素のけい光 X 線分析 味の素中研 榎谷祐一，ほか
14. X 線回折分析法による堆積粉じん中の石英の定量 島津 関口晴夫，ほか
15. けい光 X 線分析法の水質汚染監視への応用 I (水質前処理法の開発) 東芝府中 奈良英幸，ほか
16. けい光 X 線分析法の水質汚染監視への応用 II (試料自動調製装置の開発) 東芝府中 田之上 司，ほか (11:00～12:20)
17. 粉じんの X 線分析のための標準試料作製方法の研究 明大工 片岡哲朗，ほか
18. (特別講演) 環境分析のための標準試料

東大農 戸田昭三

(13:20～14:20)

19. (特別講演) X 線分析の生化学への応用

東医歯大 水平敏和

(14:40～15:40)

20. E S C A による紙の中の添加剤の分布解析

富士フィルム 黒崎和夫，ほか

21. Fe-Cr-Al 合金の表面酸化と軟 X 線スペクトル

名工大 丸野重雄，ほか

22. 鉱物中の硫黄の状態分布 東大工 江口公平，ほか

(16:00～17:00)

23. 硫黄の X 線 K スペクトルに対する化学結合の影響

九工試 安田誠二，ほか

24. E P M A によるカルシウム化合物の状態分析

島津東研 田中康信，ほか

25. コンピュータ制御 E P M A による状態分析

筑波大 大塚芳郎，ほか

第 3 日 (9 月 28 日) (9:20～10:00)

26. 焼結鉱中のヘマタイトとマグネタイトの X 線回折分析 明大工 中村利広，ほか

27. けい光 X 線強度に対する粒子の影響の微視的検討 島津 筑山 宏，ほか

(10:00～11:00)

28. (特別講演) X 線回折と分析の二，三の話題

阪大産科研 床次正安

(11:20～12:20)

29. 計数の統計を利用した粒径測定—I

理学電機 円山 弘，ほか

30. 計数の統計を利用した粒径測定—II

理学電機 円山 弘，ほか

31. エネルギー分散型 X 線マイクロアナライザーによる成分別粒度分析 昭電中研 阪本 博，ほか

参加申込 この討論会に参加される方は全員参加登録をしていただきます。所定様式の申込書に登録料を添えて，現金書留でお送りください。

予約申込締切 9 月 5 日 (火) 必着 (9 月 6 日以降のものは当日扱いになりますので，早めにお申し込みください)

登録料 (講演要旨集代を含む)

予約 3,000 円 当日 4,000 円

講演要旨集の前送を希望される方は，送料 120 円を同封して上記期日までにお申し込みください。(申込書を郵送されてから要旨集がお手元に届くまで約 15 日かかりますので，できるだけ早くお申し込みください。)なお，例年会期中に講演要旨集は品切れになつておりますので，参加予約をおすすめします。

懇親会 9 月 26 日 (火) 18 時ごろより京都大学楽友会館 (075-751-1100) において開催します。

会費 3,500 円

申込先 〒141 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 日本分析化学会 X 線分析研究懇談会 [電話：03-490-3351]

第 10 回 高温材料技術講習会

無機材料のバインダーと接着

主催：社団法人窯業協会，協賛：日本鉄鋼協会，ほか
期 日 昭和 53 年 8 月 30 日(水)，31 日(木)
場 所 (株)光陽社ビル会議室
(東京都荒川区東日暮里 5-48-5 電話 03-803
1241) 国電日暮里駅下車徒歩 3 分

定 員 100 名

申込締切 昭和53年 8 月20日

第 1 日 (8 月30日)

10:00 バインダーと接着に関する総論

工学院大工 山口章三郎

12:30 リン酸塩結合と関連固相反応

都立大工 金澤 孝文

14:10 超速硬，高強度および高温・高圧用セメント

東工大工 近藤 連一

15:40 セラミックスおよびガラスと金属との接着

東 芝 高塩 治男

第 2 日 (8 月31日)

9:00 有機質バインダー

前阪府工技研 中尾 一宗

10:40 無機質バインダー

阪府大工 田中 雅美

13:00 炭素-炭素系結合材の特性

北大工 真田 雄三

14:40 総合討論

パネラー：講師・その他

参 加 費 会員（窯業協会特別会員会社社員および協賛
先個人会員を含む）

1 名 15,000円

官公庁，学校在職者 “ 14,000円

学 生 “ 12,000円

上記以外 “ 17,000円

註：いずれもテキスト 1 部代を含む。

昼食は自弁に願います。

テキスト 当日会場でお渡しします。

申込みと送金 1) 所定の申込書を利用され，参加費を添えてお送りください。

2) 参加費は，整理上勝手ながら「現金書留」でお願いします。

* 官公庁，事業所の手続で，やむなく遅くなられる向は，その旨明示していただければ後払いでも構いません。

3) 受理の方には，参加証，領収書，会場地図をお送りいたします。

申込先・送金先・照会先

〒160 東京都新宿区百人町 2 丁目22番17号

社団法人 窯業協会（企画委員会）

電話 03-362-5232

第 9 回世界非破壊検査会議

Summary 締切り日→1978年10月31日に延期

NINTH WORLD CONFERENCE

ON NON-DESTRUCTIVE TESTING

1979 年 11 月 18~23 日開催

於：メルボルンヒルトンホテル（オーストラリア）

第 6 号（5 月号）の会告 N71 に掲載いたしました同会議の Summary（英文 300 語以内）提出の締切り日が 1978 年 10 月 31 日に延期されましたのでお知らせいたします。

送付先：The Conference Secretary

9 WCNDT

191 Royal Parade

Parkville, Victoria 3052

AUSTRALIA

書 評

五 弓 勇 雄 編著『金属塑性加工の進歩』

本書は金属の塑性加工に関する問題を塑性力学，材料製造に関する一次加工，材料を使用する立場からの二次加工など幅広い分野にわたって，材料力学および金属材料学の両面から詳しく述べるとともに，各加工技術に関しては将来の展望がなされている。

本文の執筆者は編著者の 30 年をこえる研究活動の中で育ててきた門下生が中心になっており，塑性加工のそれぞれの分野の第一流の研究者，技術者であつて，最近の情報，最新のデータを取り入れてまとめられ，例えば超塑性や加工熱処理などの新しい現象や技術もそれぞれ 1 項目に取り上げられている。

話が飛ぶが，世界の名著に数えられている文学書は中学生，大学生から人生経験豊かな社会人までどの層の人が何度読んでも，その都度新たな感動をうけるものである。同様に本書も学生の教科書として，現場の技術者や大学・企業の研究者の参考書として，あるいはマネジメント層の参考書として，活用する人の知識，経験，視野の広さに応じてほしい物を与えてくれる。本書を塑性加工に関心を持つ同学の士に座右の友としておすすめする次第である。

（長島晋一）

発行年月日 昭和 53 年 5 月 25 日

発 行 所 (株)コロナ社

定 価 10,000 円